

しよ う わ



今月の表紙 2019.9.12

石器時代にタイムスリップ？石包丁づくり

9月12日（木）、昭和小学校において、総合学習の時間を活用して、5・6年生を対象に石包丁づくりの授業が行われました。講師には、昭和中学校の西尾祥子先生、佐瀬日出夫先生、地域おこし協力隊の押部僚太さん。あらかじめ小割りにしておいた石を、大きな石と擦り合わせながら刃物を研ぐ要領で、刃をつけていきました。鋭く刃がついたところで、実際に稲を刈りその切れ味を確認しました。

実はこの石包丁、紐を通すための穴が空いているのですが、子供たちは、切れ味を確認した後、その穴を利用して稲の脱穀を行うなど、想像を膨らましながら新石器時代の人々の暮らしに触れる機会となりました。

ほぼ30歳の修学旅行開催

野尻地区に盆踊りの太鼓が響く

9月21日から22日にかけて、昭和村を宿泊地として、県が企画する「ほぼ30歳のふくしま修学旅行」が実施された。修学旅行は、ふくしまの魅力・生活体験ツアーが実施された。

ツアーには、首都圏在住の福島県にゆかりのある



20代後半～30代の男女11名が参加し、喰丸小や道の駅、雪室やかすみ草園場の見学をしました。夕方には、シェアスペース昭和三村（野尻）で、交流会が開かれ、野尻地区の方々の協力のもと、大皿料理やバーベキュー、つくたての餅など、昭和村の美味しい品々が振る舞われました。

また、盆踊り愛好会の協力により、少し遅めの盆踊りも行われ、実に約30年ぶりに集落内に祭り太鼓が響き渡り、野尻地区外からも大勢の人が足を運びました。

盆踊り終了後も、参加者と村の方々はお酒を酌み交わしながら談笑し夜は更けていきました。

令和元年度

昭和村敬老会

9月14日、昭和村公民館において、令和元年度の敬老会が開催され、183名が参加されました。

新たに70歳を迎える方を代表して渡辺重雄さん（小野川）に敬老記念品が贈呈されました。また、福島民報社と県老人クラブ連合会の「しあわせ金婚夫婦表彰」が行われ、山内富士雄さん・ナヲ子さん夫妻（喰丸）、山ノ内秀雄さん・エイ子さん夫妻（野尻）に表彰状と記念の「おしどり金メダル」が贈呈されました。

祝宴のアトラクション

では、昭和からむし音頭の作詞作曲を手がけた田辺健さん（会津若松市）らによる歌謡や舞踏が行われ、参加者は楽しいひと時を過ごしました。



なお、「しあわせ金婚夫婦表彰」を受賞された方々は次のとおりです。おめでとうございます。

山内富士雄様・ナヲ子様（喰丸）

渡部 清様・ヤヨイ様（小野川）

山ノ内秀雄様・エイ子様（野尻）

保育所親子

レクリエーション会

9月7日、秋晴れの中、昭和村保育所において「親子レクリエーション会」が行われました。

子供たちは、玉入れやダンスなどのプログラムに全力で取り組み、訪れた保護者らに、元気いっぱいな姿を見せていました。

保護者や祖父母が参加するプログラムもあり、お子さんたちと一緒に体を動かして、楽しい時間を過ごしました。



昭和村秋の体験ツアー

木の枝で箸づくり



9月21、22日と、姉妹都市の埼玉県草加市から「秋の体験ツアー」で34名が来村しました。

秋の体験ツアーでは、恒例となった稲刈りの他、新たな取り組みとして、喰丸小において、裏山に生えている木の枝を使った箸づくりが行われました。

講師は、齋藤克之さん（喰丸）と地域おこし協力隊の押部僚太さん。

参加者は、自分の好きな木（樹種）を選び、箸に使えるような大きさだけ、まっすぐな部分を選び、表面を削り、エゴマ油を塗って箸を仕上げました。翌日には、矢ノ原高原でさつまいも収穫体験が行われ、その後振る舞われた昼食の際に、自分たちでつくった箸を使い食べた秋の味覚は、一層美味しく感じられたことと思います。

藤田浩子さんの

おはなし会・講演会

8月23日、昭和村公民館において世界で活躍する「お話おばさん」藤田浩子さんをお招きして、おはなし会を開催しました。

工夫された小道具を用いたお話会に、幼児や児童達が大喜びで、大いに盛り上がりました。後半は、お話ボランティアの皆さんやお母さん、先生方を対象に、「昔話の中の知恵」という講話をいただき、実演を交えながら、楽しく勉強しました。



健康づくりセミナー・生涯学習講座

「韓国料理教室」

9月5日に、健康づくりセミナーと生涯学習講座合同の「韓国料理教室」が、すみれ荘で開催されました。講師に「料理教室Cooking Salon Aizu」主宰の山口良一さん（喜多方市）をお迎えし、韓国料理についてのお話を交えながら調理実習を行いました。家庭にある材料で簡単に作れる韓国料理をテーマに、さんまのキムチ煮込み、韓国風冷奴、あら汁の3品を作りました。魚の三枚おろしのさばき方や生臭さの取り方、調味料選びのポイントなども教えていただき、本格的な味に仕上がります。コツを学びました。試食では、体の内側からじんわり温まる、体に優しい美味しい料理を味わいました。



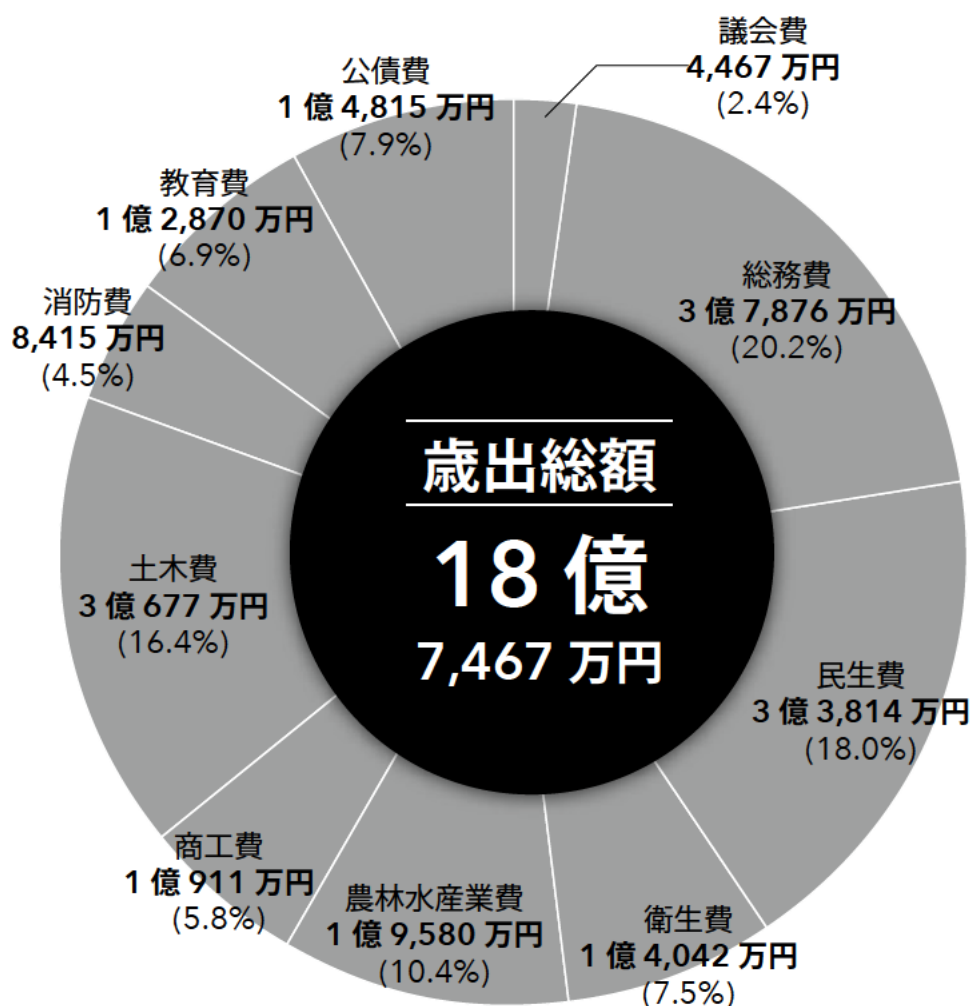
9月に行われた第3回議会定例会において平成30年度の決算を報告いたしました。

一般会計の決算額は、歳入総額 20 億 7,445 万円、歳出総額 18 億 7,467 万円で、前年度と比較して、歳入は 14.1%の減、歳出も 19.1%の減となっています。税金および国からの交付金などがどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

なお、平成30年度決算の認定については、一般会計の村税滞納額が多額になっていることから不認定となりました。

村では、この結果を踏まえ必要な措置を講じてまいります。

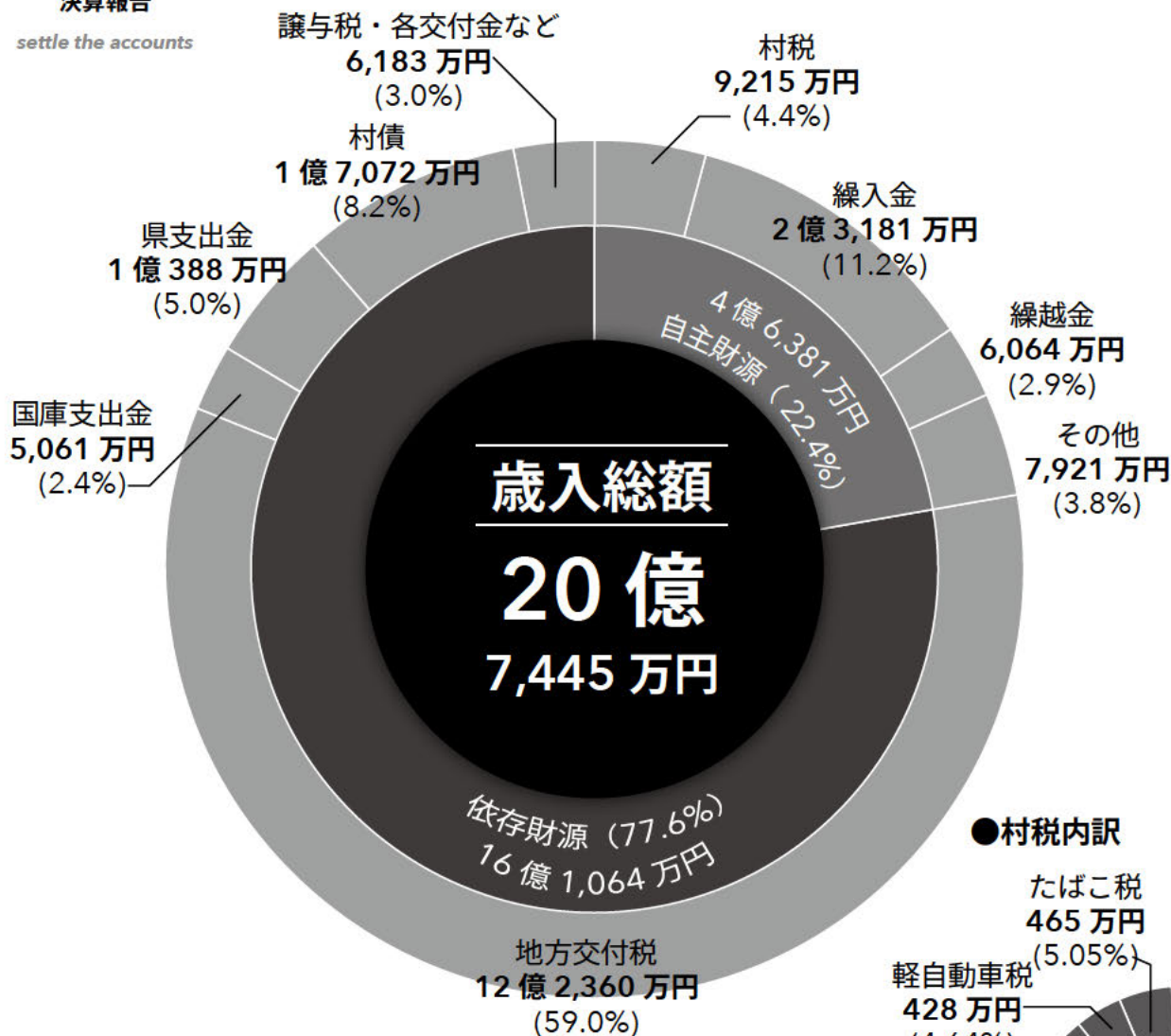
平成30年度 決算 報告



●特別会計決算表

(万円)

会計名		歳入	歳出	差引残高
国民健康保険特別会計	事業勘定	1 億 9,249	1 億 8,773	476
	施設勘定	1 億 2,483	1 億 1,937	546
簡易水道特別会計		1 億 5,771	1 億 5,255	516
下水道特別会計		6,092	5,825	267
農業集落排水特別会計		5,267	5,099	168
合併浄化槽特別会計		510	413	97
後期高齢者医療特別会計		2,395	2,351	44
介護保険特別会計		3 億 5,047	3 億 3,546	1,501



村のお金のはなし

億単位の話なので、なかなか想像が付きにくいことと思いますので、村のお金のことを身近に感じてもらいたいと思い、村民一人あたり換算（年度末時点の人口で除算）の結果は以下の通りです。

なお、今年から、村の貯金である基金残高と村の借金である起債などの地方債も指標として付け加えています。

●村民一人あたりに使われたお金 1,479,616円 (円)

議会費	35,255	商工費	86,119
総務費	298,939	土木費	242,126
民生費	266,885	消防費	66,416
衛生費	110,829	教育費	101,581
農林水産業費	154,534	公債費	116,932

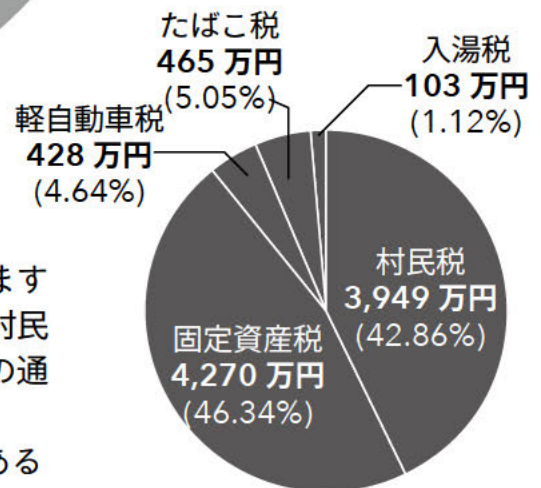
●村民一人あたりの借金 250万円

●村民一人あたりの貯金 217万円

村が事業を行う際に起債（借金）をすることがあり、その借金は、長い年数をかけて返済していくことになっています。年度末の残高は、31億6,344万円ですが、その元利償金については、地方交付税などによって財源保障されています。

一方、貯金とも言える基金の残高は21億445万円です。

●村税内訳



●村民一人あたりの税負担額 72,726円 (円)

内訳	村民税	31,170
	固定資産税	33,699
	軽自動車税	3,376
	たばこ税	3,669
	入湯税	812

平成 30 年度 決算 報告

●主な事務事業費

限られた財源を有効活用し、住民生活向上のため、多岐に渡り事業を実施していますが、そのうち各費目ごとの主な支出の内容は、次のとおりです。

総務費 3億7,876万円

● 会津計算センター負担金	4,635 万円
● 昭和村南会津町生活バス 及び路線バス運行事業	1,979 万円
● からむし織体験生・研修生事業	1,071 万円
● 県立川口高等学校桐径会補助金	115 万円
● 地域振興事業（補助金）	241 万円
● 交流・定住推進事業	355 万円
● 昭和村ラジオ難聴解消事業	1,362 万円

農林水産業費 1億9,580万円

● 中山間地域等直接支払交付金事業補助金	1,942 万円
● 多面的機能支払交付金	1,271 万円
● 担い手対策支援事業補助金	532 万円
● 実り豊かなふくしまの産地整備事業	253 万円
● 新規就農者参入推進事業	3,171 万円
● 県営ため池等整備事業負担金	852 万円
● 森林環境交付金事業	404 万円

民生費 3億3,814万円

● 高齢者生活福祉センター指定管理料	738 万円
● 昭和福祉会活動事業補助金	4,868 万円
● 放課後児童クラブ	146 万円
● 児童手当	806 万円
● 保育所送迎車両購入	384 万円
● 昭和温泉湯ポンプ等交換修繕工事	923 万円

商工費 1億911万円

● 地域振興事業（喰丸小）	957 万円
● 観光施設管理事業	880 万円
● 都市交流事業（草加市）	136 万円
● イベント実施事業補助金	400 万円
● からむし織の里指定管理料	1,690 万円
● 道の駅進入路等改修工事	950 万円
● からむし織の里商品券発行事業補助金	326 万円

衛生費 1億,4042万円

● 会津若松地方広域市町村圏 整備組合衛生費負担金	826 万円
● 廃棄物処理事業	808 万円
● 保健事業（健康診断）	422 万円
● 予防接種事業	199 万円
● 乳児衛生用品支給事業	18 万円
● 乳幼児・妊婦健康診査	90 万円

土木費 3億677万円

● 冬季道路確保事業	8,648 万円
● 移住定住促進住宅事業	3,774 万円
● 村道改良事業	2,737 万円
● 村道等補修工事	610 万円
● 村道・橋梁等測量設計業務委託	1,002 万円

消防費 8,415万円

● 小型動力ポンプ付積載車購入	999 万円
● 消防施設修繕事業	244 万円
● 会津若松地方広域市町村圏 整備組合負担金	5,531 万円

教育費 1億2,870万円

● スクールバス運転管理業務事業	1,309 万円
● 外国語指導助手招致事業	485 万円
● 複式学級支援講師配置	483 万円
● 学校給食費	1,283 万円
● 駒止湿原保護協議会負担金	120 万円

地域医療に尽力してくださる看護師さんのご応募お待ちしております

◆採用職種及び採用予定人員

看護師・1名

◆受験資格

看護師の免許を有する者、または令和2年3月末までに取得見込みの者(学歴不問)

◆試験内容

- (1) 第1次試験：教養試験(短大卒程度)、看護師適正検査
職場適応性検査
- (2) 第2次試験：個別面接試験、作文試験

◆試験期日、場所及び発表

- (1) 第1次試験：令和元年11月10日(日)
受付 9:00～9:30
教養試験(短大卒程度) 10:00～12:00
看護師適正検査 13:00～13:50
※職場適応検査は看護師適正検査後実施します。
試験会場：昭和村役場(大沼郡昭和村下中津川字中島652)
- (2) 第2次試験：
期日等について、第1次試験合格者に対してのみ、
別途通知します。

◆受付期間

令和元年10月31日(木)午後5時まで
郵便による申込書提出の場合は、10月29日(火)までの消印のあるものに限り受け付けます。

◆受験手続き

- (1) 申込用紙の請求：申込用紙は、本村役場で交付します。郵便により申込用紙を請求する場合は、封筒の表に「看護師試験申込」と書いて、切手をはった宛先明記の返信用封筒(角形2号)を必ず同封してください。
- (2) 申込の方法：申込用紙に必要事項を記入して、本村役場に提出してください。申込書を郵送する場合は、切手をはった自分宛の封筒を同封し、その表に「試験申込」と朱書き、必ず簡易書留にして送付してください。

※送付先

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652
『昭和村役場総務課』

【お問い合わせ】 昭和村役場 総務課 ☎ 0241-57-2111

昭和村職員(看護師)採用候補者試験のお知らせ



公民館日誌

○千歳学級「民話まつり鑑賞会」 9月15日

会津若松市文化センターで開催の「第13回会津民話まつり」を鑑賞しました。「これからは永く語り継ぐべ 会津のこころ」をテーマに、昔より語り継がれてきた民話の数々が、心を込めて語られました。金山町・三島町など、近隣町村の語り部の発表もあり、方言ならではの懐かしく温かい語り口に、すっかり引き込まれ聴き入りました。

○「盆踊り愛好会」発足 9月9日

盆踊り愛好会発足総会が開催され、同名の愛好会が発足しました。平成28年から4年に渡り開催された公民館主催の生涯学習講座「伝統継承事業～盆踊りの伝統を受け継ごう」に参加されたメンバーと発起人の酒井聡志さんを中心に立ち上げられ、会長は、発起人の酒井聡志さんが務めることとなりました。盆踊りの魅力をより多くの方々に広め楽しんでいただくことを目的とし、各地区での盆踊りやイベントへの協力、また、盆踊り講座等を開催し新しいメンバーを募る予定です。なお、愛好会発足にあたり、羽染フチ子様より浴衣（男性用3枚・女性用4枚）7枚を寄贈いただきました。



【お問い合わせ】昭和村公民館 鈴木（事務補佐） ☎ 57-2114

地域の幸せづくり活動紹介 「秋晴れの下のメケ・メケ！」

9月15日（日）、大芦地区でいつもと違ったメケ・メケを開催しました。この日は、かつて織姫として昭和村に暮らしていた、戸張（旧姓山田）あかりさんと、フォークソング同好会の皆さんのライブでしたので、地区を越えて子どもから高齢の方まで、沢山の方々に足を運んでいただきました。



（写真）

昭和村を思いながら作った唄は、優しさで溢れていて、涙を流して聞いている方もいらっしゃいました。

令和元年分年末調整及び消費税軽減税率制度説明会

年末調整事務及び消費税軽減税率制度の説明会を開催します。

●日 時	11月12日（火）	【午前の部】	受付 9:30	【午後の部】	受付 13:00
		年末調整説明会	10:00～11:20		13:30～14:50
		軽減税率説明会	11:20～12:00		14:50～15:30

●場 所 会津若松市 アピオスペース展示ホール

【お問い合わせ】会津若松税務署 法人課税第一部門 ☎ 0242-27-4346

【連載】新史料紹介

野尻組の「麻」 「からむし」 〈第70回〉

昭和村文化財保護審議会委員長

菅家 博昭（大岐）

江戸時代後期の
情報網と大芦・赤田屋

（その一）

金山町西谷出身で福島民友新聞社に勤務され、長く文化欄等を担当された栗城正義さん（昭和6年生まれ、故人）。晩年に奥会津の山ノ内氏一族について精力的に調査をされたと『忠誠日本一』（歴史春秋社、2009年刊）を刊行された。書かれた内容について貴重なものであるが、引用するには精査が必要な事項も残されている。私は福島市の自宅を訪問したところがあるが、在宅であるが病気で寝込んでおり面接ができなかった。その後、正義さんからいいな封書（手紙）をいただいたことがある。

この本の267ページから「沼沢一家の蝦夷地出陣」が記述されている。現在の北海道にロシアが軍艦で来襲しその防衛のため江戸幕府の要請で2400人の会津藩兵が出兵した。江戸時代後期文化5年（1808）のことである。現在の金山町沼沢集落から8名（農民）が会津藩の沼沢家の要請で従軍している。

この沼沢の農家の従軍に際して、現在の昭和村松山の絵師・佐々木松夕（しょうせき）が武運を祈念して二幅の絵を献上したとされる。鷲（わし）と鷹（たか）の絵であったという。この時の出兵はロシアと交戦はせず現地に3ヶ月滞在し帰郷している。青森から一ヶ月徒歩で会津若松に、そして沼沢に戻っている。

このなかの最年少の若林美之助（19歳）は絵が達者であったので蝦夷地陣中で写生した絵が残されている。外国人も書かれています、という。

30年ほど前、佐倉のからむし工芸博物館の展示設計を数年間、ボランティアで担当した際に、はじめ松山の佐々木太一家の段ボール箱に入れた未整理文書類を会津若松の福島県立博物館で数日間通って全点（800点余）を見つけた。それは寄託された資料であるが未整理であったが、松夕の生家でもあったことから絵の下書き等も多く確認できた。

そのなかに『昭和村の歴史』（1973年刊）107頁の上限に掲載されていると同じような絵図を確認した。「意外に早く、（ロシアの蝦夷地侵略の）動静が伝わっている」と書かれている。

現在わかるのは沼沢の会津藩従軍帰郷者と松夕の交流があり、その帰郷後に松夕が会ったと想定されること、また松夕の絵には「文化六年五十島忠怒持参ス」と書かれており介在者があったことを示している。

家屋解体予定家屋の民具回収のための調査に立ち会った。協力隊の押部さん、織姫OGの水野さん、親戚等類縁の皆さん。調査して見立てを話し、後は任せて帰宅した。近世後期から明治期、からむしの仲買をしていた家で「赤田屋」という。取引関係の書面類は、残念ながらすべて処分された後であった。

まず、土蔵内を調査した。大黒柱の2階部分の、西側上部に木の板が打ち付けてあり、それが建立年と思われる。

文久2年8月、1862年である。また大黒柱の北面下部には御札が貼つ

（木札正面） 木板に墨書で縦書き

文久二壬戌年 正年六十二歳

八大龍王尊 五十嵐善右衛門 金久代

八月吉辰 大工 越後寺溜 梅津元吉

（木札裏面）

福満大黒天

一一一

（紙製御札）

文久二年□□□（欠損）

奉請 八大竜王（欠損）

十月吉日（欠損）



大芦赤田屋。9月17日より解体。

てあり、これも文久2年10月であった。越後大工梅津元吉が建てた。寺泊の大工であろう。

所蔵家具類には、本角八（ほん・かく・はち）の屋判。屋号は赤田屋である。（以下次号に続く）

教育委員会の点検・評価の公表

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、公表しなければならぬとされています。

昭和村教育委員会では、法の趣旨にのっとり、効果的な教育行政の推進に資するとともに、村民の皆様への説明責任を果たすため、「平成30年度昭和村教育委員会の点検・評価」を実施し、その結果を報告書としてまとめました。評価総括は別表のとおりです。

報告書の詳細内容は昭和村教育委員会事務局において閲覧することができます。

平成30年度

昭和村教育委員会 重点施策に関する 事務事業評価総括

主な事務事業（文頭に●を表記）ごとに、その状況に応じて、

- A・・・充分達成
- B・・・ほぼ達成
- C・・・やや不十分
- D・・・不十分

にて評価をしています。

① 学校教育

小・中学校各1校で、かつ少人数であるため、その特性を生かした教育を推進する。児童生徒一人ひとりの長所と個性を伸ばす教育に努める。学力の向上、豊かな心と健やかな体の育成を目標に、未来を担う人づくりを進める。同時に、学校全体の教育力の高揚を図るた

め、安心安全な教育環境づくりに努める。

① 未来を担う人づくり

● 学力の向上

児童生徒が将来自立して生きていくために必要な、基礎的・基本的な知識と技能を身に付けさせ、自ら学び自ら考える力を獲得させることにより、「確かな学力を身に付け、自己実現を図ることができ、児童生徒」を育成する。

《施策》

- 現行学習指導要領から次期学習指導要領への移行を見据えた「確かな学力」の向上を図る学習指導
- 小中連携教育の充実
- 高度情報社会を主体的に生きていく力の育成
- 国際化の進展に対応できる人材の育成
- 学力の向上を支える楽

しい学校づくり

○ 各種検定への積極的参加

評価…A

● 豊かな心と健やかな体の育成

児童生徒が将来社会人として、その役割を果たしていけるよう、豊かな人間性と社会性を養う。自己及び社会全体のために行動できる勤労や奉仕の心、社会規範や道徳を重んじる心、人権を尊重し他人を思いやる心、生命力にあふれた健やかな体を育てる。

《施策》

- 農体験学習など郷土の特性を生かした総合学習
- 地域の大人と児童生徒が触れ合う世代間交流や、異年齢集団との体験活動の推進

評価…A

② 安全安心な教育環境づくり

● 教育環境の整備促進

学習環境の整備促進に努め、安心安全な教育環境を確保し、学校全体の教育力を高める。

《施策》

- 複式学級を実質的に解消するための、村雇用講師の配置
- 特別支援教育等支援員の配置
- 施設設備の安全点検の徹底と補修
- 教員宿舎の不具合改善

評価…C

● 学校事故防止と危機管理

学校事故を未然に防止するため、不幸にも事故が起こってしまった時には迅速かつ適切に対応するため、危機管理の徹底を図る。

特に、いじめ防止対策については、「いじめ防止対策推進法」（平

成25年法律第71号)及び「昭和村いじめ問題対策連絡協議会等設置条例」を踏まえ、適切に対処する。

《施策》

- 教育委員会・小中学校・関係諸機関・村民各位の連携強化
- 安心安全な学校給食の促進
- スクールバスの安全運転
- いじめ・不登校の未然防止、連携強化・迅速対応

評価…A

●放射線教育

原子力発電所事故による放射線の影響を正しく把握し、判断し、対処出来る力を育成する。県や県教育委員会からの情報を活用し、小中学校の授業を充実させる。情報を積極的に提供する。

《施策》

- 科学的知識に関する内容の学習
- 健康教育に関する内容の学習

評価…B

(2) 生涯学習・社会教育

芸術・文化・趣味・スポーツ等の活動機会を提供し、それらに関わる各種団体を支援する。貴重な文化財を保護する活動を展開する。誰もが学ぶことのできる学習環境の構築に努め、健康で心豊かな生活ができるよう、生涯学習・社会教育の充実を図る。

① 生涯学習の振興

●生涯学習の振興

いつでも、どこでも、村民だれもが生涯を通して学習することができるよう、村内外の教育機関・民間事業者・NPO・市民団体等と

積極的に交流し、協働体制づくりを目指す。生涯学習推進の拠点としての教育委員会であり公民館であることを深く認識し、各地の文化施設・美術館・博物館・図書館等と連携し、ネットワークづくりを進める。

《施策》

- 生涯学習講座
- 青少年と高齢者の教室
- 児童生徒の公衆道徳・マナー・規範意識の涵養
- リーダーの育成
- 生涯学習広報紙「やまがら」の発行
- 地元学としての「昭和学」講座の開催

評価…B

② 芸術・文化の振興

●芸術・文化の振興

村民がより多く芸術活動を鑑賞できる機会や発表できる機会を設け、村民参加による芸

術・文化の振興を図る。地域に根ざした文化的資源を大切にし、地域の活性化を図る。

《施策》

- 昭和村文化協会加盟団体の活動支援
- 「からむし」に関連することを芸術・文化の側面からも捉え直す取り組み
- 家庭劇場
- 村民文化祭
- 文化団体との共催事業

評価…B

③ 各種団体の育成

●各種団体の育成

各種団体が意欲を持つて活動することを支援する。村内には様々な活動に取り組んでいる小さな団体もあり、団体として登録するまでには至っていない各種のグループもある。どの団体やグループであっても、大きな輪の

中で活躍することができるよう働きかけていく。

《施策》

- 補助金及び事務連絡支援
- 各種小グループへの参加呼びかけ

評価…B

④ スポーツの振興

●スポーツの振興

村民の日常生活にスポーツが根づくよう、自らスポーツをする・見る・応援するなどの活動の場を作り、地域の一体感を高める活動を支援する。

《施策》

- スポーツ推進委員との連携
- 村民球技大会の開催、各種団体主催大会への参加・協力
- 昭和村運動広場及び昭和村農林漁業者等健康増進施設の管理・運営

評価…B

⑤文化財の保護

●文化財の保護

昭和村に残る貴重な文化財・記念物等を保護し、継承し、後世に伝えていく。

《施策》

- 文化財保護審議委員会の活動の充実
- 国指定天然記念物「駒止湿原」の保護・活用
- 村天然記念物・県自然環境保全地域「矢ノ原湿原」の保護・活用
- 村内の文化財や遺跡等の調査・保護

評価：C

⑥その他

●その他の事項

《施策》

- 用途廃止施設の撤去
- 昭和村小野川生涯学習センターを軌道に乗せるための取り組み
- 小野川生涯学習セン

ターに移動保管してある民具の整理・調査

評価：B

(3) 学校教育と生涯学習・社会教育の連携

連携の目的・内容・方法を検討し、無理なく実現可能なものから実行に移し、支援していく。学校教育関係者と生涯学習・社会教育関係者が、ともに知恵を出し合い連携することを通して、村民の教育・文化・福祉に貢献できるように努める。

① 各種連携

《施策》

- 学校教育における地域人材の活用
- ボランティア団体「杉の子会」による小学校児童との交流
- 新設「喰丸小」の活用への積極的参加

評価：B

福島県議会議員一般選挙のお知らせ

告示日 令和元年 10 月 31 日 (木)

投票日 令和元年 11 月 10 日 (日)

投票日当日の投票時間 午前 7 時 00 分から午後 6 時 00 分まで

- ◎ 投票所入場券は 10 月 31 日頃に届くように発送予定です。
- ◎ 投票日当日、都合により投票所へ行って投票できない方は期日前投票所で投票することができます。期日前投票のできる期間は 11 月 1 日から 11 月 9 日までです。棄権しないで投票しましょう。

※ 告示日に立候補届出者が 1 人だけの場合は無投票となり、投票は行なわれません。

昭和村明るい選挙推進協議会
昭和村選挙管理委員会

役場人事異動

菅家 良太

新任：保健福祉課 福祉係主事
前任：産業建設課 観光交流係主事（兼）奥会津五町村活性化協議会勤務（兼）只見川電源流域振興協議会勤務

木村 大輔

新任：産業建設課 観光交流係主事（兼）奥会津五町村活性化協議会勤務（兼）只見川電源流域振興協議会勤務

前任：保健福祉課 福祉係主事
(10 月 1 日付)

博士トンネル
メーカー

現在、施工中の国道401号博士トンネルの進捗状況をお知らせします。

博士トンネル 全長 4,503m

■昭和村側 787m / 2,265m

■会津美里町側 778m / 2,238m



(9 月 26 日時点)



警察署からのお知らせ

みんなでつくろう安心安全の街

10月11日(金)から20日(日)までの10日間は
全国地域安全運動期間です！

- 【運動重点】
- ・子供と女性の犯罪被害防止
 - ・なりすまし詐欺の被害防止
 - ・地域の犯罪発生実態に即した各種犯罪の被害防止

「ながら見守り」で地域の子供と女性を守ろう

こどもが不審者に声をかけられる事案の多くは、下校時間帯の13:00～17:00に発生しています。犬の散歩、買い物、庭の掃除、ウォーキング、ジョギングなど日常生活の中で、子どもたちを見守る活動をしましょう。

子ども達の下校時間にあわせて、しながら見守りをしましょう。不審者を見かけたら、すぐに通報してください。

【お問い合わせ】会津坂下警察署 生活安全係 ☎ 0242-83-3451

昭和村内街頭犯罪等発生状況

(令和元年8月末現在)

区分	管内	昭和村
街		
強盗		
空き巣ねらい	1	
忍び込み		
事務所荒らし	5	
出店荒らし		
自動車盗み		
オートバイ盗		
自転車盗		
自販機ねらい	5	
車上ねらい	1	
ひったくり		
部品ねらい		
強制わいせつ	1	
街頭犯罪合計	13	0
その他刑法犯等	52	0
全刑法犯	65	0

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、平成31年1月1日からの累計数になっています。



消防署からのお知らせ

10月は蜂の季節？

・蜂の活動時期は？

蜂、特にスズメバチの活動最盛期は一般に7～10月とされています。つまり、この時期は蜂が最も攻撃的になっている時期ということです。また、ミツバチが攻撃的になる時期も10月～11月とされています。

・蜂にさされないようにするには？

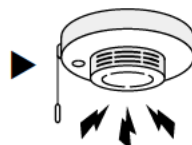
- ① 白い服を着る…スズメバチは黒い物を目がけて襲ってくる習性があります。
- ② 香水やヘアスプレー等は付けない…蜂は強い匂いに敏感に反応します。
- ③ 屋外でのジュースは危ない…飲料水に寄ってることがあります。

もし蜂に刺されて体調が悪くなったらためらわずにすぐ救急車を！

住宅用火災警報機～正常に鳴るか確認～



引きひもを引く
またはボタンを押す



鳴ればOK!

- ・警報器はホコリで感知しづらくなります。布等で乾拭きをお願いします。
- ・住宅用火災警報器は、古くなると電子部品の寿命や電池切れなどで、火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に交換することが推奨されています。

火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>

＋ 10月の休日当番医 ＋

- 6日(日) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 13日(日) 荒井医院
☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)
- 14日(月) 遠山眼科医院
☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)
- 20日(日) もこぬま内科消化器化医院
☎ 0242-56-5622 (会津美里町)
- 22日(火) 坂下厚生総合病院
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 27日(日) こばやしファミリークリニック
☎ 0242-55-0388 (会津美里町)
- 今月の休日当番医を掲載します。
通院の参考にして下さい。

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和元年8月1日～8月31日受付

- お誕生おめでとうございます
今月の届出はありません
- ご結婚おめでとうございます
今月の届出はありません
- おくやみ申し上げます
大西 泰信 さん 88歳 下中津川
星 フキイ さん 90歳 大 芦
酒井 アヤ子 さん 94歳 下中津川
五十嵐 フミイ さん 86歳 小中津川
永井 信子 さん 89歳 小中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は
届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和元年9月1日現在

人 口	1,260人	(－4)	出 生	0人
男	618人	(－1)	死 亡	5人
女	642人	(－3)	転 入	3人
世 帯 数	668戸	(－6)	転 出	2人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

★ 10月の行事等のご案内

- つみきクラブ
毎週水曜日 9:00～11:45 すみれ荘
- 乳がん検診
10月9日 10:00～ すみれ荘
- 健康づくりセミナー
10月17日 10:00～ すみれ荘

★ 感染症情報 (2019年9月現在)

- ◎ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、咽頭結膜熱、手足口病は、会津で流行が続いています。
- ◎ RSウイルス感染症は、県内全域で流行が続いています。

【RSウイルス感染症について】

県内のRSウイルス感染症の患者報告数が増加しています。
主な症状は鼻水や咳ですが、重症化すると気管支炎・肺炎などの原因になる場合があります。特に、生後数週間～数ヶ月の時期に感染すると、重篤な症状を引き起こしやすくなるため注意が必要です。



◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 (3期)
 - ◎ 国民健康保険税 (4期)
 - ◎ 後期高齢者医療保険料 (3期)
 - ◎ 介護保険料 (4期)
- 〔納期限: 令和元年10月31日〕



宮下病院だより

愛ばんしょ外来からのお知らせ

宮下病院では毎週木曜日「愛ばんしょ外来」を開設しています。

- 病気や障害があり自宅で生活を送っている方の介護や生活についての相談窓口
- 地域で暮らす方の健康の維持・増進、病気を予防するための健康教室
- 地域で暮らす方々が気軽に立ち寄り、交流する場所の提供を目的として、皆様のお手伝いをさせていただきます。

相談コーナー 9時～12時・13時～16時

- 健康教室 10時30分～11時 場所：外来待合室

開催日	内容
10月 3日(木)	健康教室 「肺炎予防 ノドをきたえよう」 講師：看護師
10月10日(木)	健康教室 「肩こりについて」 講師：理学療法士
10月17日(木)	健康教室 「肺炎予防 ノドをきたえよう」 講師：看護師
10月24日(木)	健康教室 「肩こりについて」 講師：理学療法士
10月31日(木)	健康教室 「肺炎予防 ノドをきたえよう」 講師：看護師

費用は無料、予約は不要です。どなたでも利用できますのでお問い合わせのうえ、お気軽にお越しください。

はるかなる

日に日に陽の長さが短くなり、朝晩の肌寒さを感じ、秋の深まりを感じます。かと思えば、日中にだいぶ気温が高い日もありますのでみなさん体調管理にお気をつけください。

さて、広報しょうわお知らせ版を発行し始めて2ヶ月が経ちましたが、いかがでしょうか。紙面の都合上、内容は非常に簡潔に掲載しているので、ご不便もあるかと思っておりますので、ご意見等ございましたら、お気軽にお寄せください。

話は変わって、カメムシさんの活動がちらほらと活発になってきましたね。去年はかなりの数が発生したので、どうか今年は控えめでと…切実をお願いしたいところです。

(こ)

昭和村民憲章

一、伝えましょう
はた音の響き
手技の智恵

一、守りましょう
おいしい水
豊かな大地

一、創りましょう
健やかな心と体
長寿の里

一、育てましょう
助け合う心
いたわりの気持ち

一、広げましょう
明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 総務企画係

☎ 0241-57-2111

soumukikaku@vill.showa.fukushima.jp



広報

しょうわ

2019

10

No.605

発行日：令和元年10月2日
編集・企画：昭和中津川役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島652
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044
WEB: <http://www.vill.showa.fukushima.jp/>

令和2年度 からむし織体験生（第27期生）募集

一つでもピンッ！と来た方お待ちしております

お

おどろきの連続

り

リアルな村ぐらし

ひ

ひたすら手仕事

め

めっちゃかわいい
おばあちゃん

● 募集概要

募集期間：9月20日（金）から10月31日（木）

募集人数：6名

● 制度概要

からむし織の一連の工程と山村生活を通じて、村人との交流を深め
昭和村の「いとなみ」を知るプログラム（期間：約11ヶ月）

お問い合わせ 昭和村 総務課 からむし振興室

福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島611
tel. 0241-57-2116 / fax. 0241-57-3044(代表)
mail. karamushi@vill.showa.fukushima.jp
web. www.vill.showa.fukushima.jp

詳細はこちら

